

(令和2年10月19日)

< ワンポイントレッスン (実践) > (指標の選択・その1(オシレータ系))

テクニカル指標でタイミングを測る場合、RSI や RCI などオシレータ系シグナル、移動平均などトレンド系のシグナルを使います。といっても、一般にボックス圏での動きはオシレータ系。トレンドのある動きにはトレンド系を適用することが重要。結局、まず中期の動きをどうみることが求められます。トレンドがある動きにオシレータ系の指標をそのまま適用すると、上昇過程で売り続け、下落の中で買い続けることになります。そして、何よりも難解なのは、ボックス圏から離脱してトレンド形成に入るか否かの転換点。シグナルが出れば尚更です。このサイトでは、2017年以降ドル/円相場にオシレータ系指標 RSI を適用してきましたが、位置を変えながらも一応レンジ内の動き。ただし、この先はどうか。為替は、各国の政策を反映することに留意です。

(ドル/円相場のRSI)



All Copyright © ゴールデン・チャート社

注：上記グラフ下段の青折れ線グラフは9日、赤は同14日、緑は26日PSI。